

山形県内の在住外国人人口の概要

(令和7年12月末日現在)

山形県内の在住外国人人口については、各市町村から各年12月末日現在の国籍別、在留資格別の外国人人口の報告を受け、県がとりまとめています。

令和7年12月末日現在の外国人人口の動向は、以下のとおりです。

1 概要

- 令和7年12月末日現在の外国人人口は、84の国・地域等、10,879人で、県内の全市町村に在住しています。
- 外国人人口は、令和6年12月末日(10,312人)と比較して567人(5.5%)増となり、過去最多となりました。
- 県の総人口に占める外国人人口の割合は1.10%となります。
(県の総人口は「山形県の人口と世帯数(推計)」令和8年1月1日現在の数値991,279人)
- 外国人人口が200人以上の市町村は以下の15市町で、令和6年12月末日と比較して1町(白鷹町)が増えています。
①山形市2,164人、②米沢市1,254人、③鶴岡市1,047人、④天童市755人、⑤酒田市685人、⑥寒河江市516人、⑦東根市492人、⑧新庄市488人、⑨長井市441人、⑩南陽市332人、⑪河北町320人、⑫上山市262人、⑬高島町237人、⑭村山市226人、⑮白鷹町202人

2 国籍別(国籍区分は出入国在留管理庁「在留外国人統計」に基づくもの)

- ベトナムが2,935人で全体の27.0%を占め、以下、中国1,863人(17.1%)、韓国1,309人(12.0%)、フィリピン1,110人(10.2%)と続いており、これら4か国で全体の66.3%を占めています。その他では、インドネシア856人(7.9%)、ミャンマー758人(7.0%)、ネパール321人(3.0%)と続いています。
- 中国、韓国、フィリピン国籍の外国人は県内全市町村に在住しています。
- 令和6年12月末日との比較では、インドネシアが242人、以下ミャンマーが186人、ネパールが78人増加しています。

3 在留資格別

- 「永住者」が3,046人で全体の28.0%を占め、以下、「技能実習」3,005人(27.6%)、「特定技能」1,698人(15.6%)、「技術・人文知識・国際業務」685人(6.3%)、「留学」442人(4.1%)、「日本人の配偶者等」397人(3.6%)、「家族滞在」395人(3.6%)、「特定活動」359人(3.3%)、「特別永住者」209人(1.9%)、「定住者」が185人(1.7%)と続いています。
- 「永住者」の外国人は県内全市町村に在住しています。
- 令和6年12月末日との主な比較では、「特定技能」が344人、以下「特定活動」が161人、「技能実習」が141人、「留学」が67人増加しています。

4 男女別

- 総数のうち、女性が6,419人、男性が4,460人で、女性が全体の59.0%を占めています。
- 人口が多い主な在留資格の女性構成比は、①「永住者」84.0%(2,558人)、②「技能実習」51.7%(1,554人)、③「特定技能」51.7%(878人)、④「技術・人文知識・国際業務」30.2%(207人)、⑤「留学」39.6%(175人)などとなっています。